

【運輸安全マネジメントに関する取り組み】

株式会社妙高ハブネット 妙高高原観光バスは、輸送の安全を確保するために、以下の通り全社員が一丸となって取り組んでいます。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 取締役社長は、「輸送の安全」が第一のサービスであり、輸送は安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に対して輸送は安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (2) 運輸安全マネジメントを実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上を図ります。
- (3) 周知については、掲示物・配布物及び乗務員研修(安全会議)の中で周知徹底を図ります。

2. 輸送の安全に関する目標

毎年事故件数減少目標を設定し、目標達成に努力します。

① 事故減件数

前年度事故件数を考慮した軒数に設定

② 具体的な取り組み

前年3月期までの安全会議に基づき、安全体質の確立・コンプライアンスの徹底・飲酒運転の根絶・ドライブレコーダー台数増を図り輸送の安全等に関する点検・ヒヤリハット情報の活用など、安全第一を基本に安全会議(年2回以上)を引き続き実施いたします。

特に危険予知運転「危ないと思ったらまず一旦停止」を重点項目に掲げ、安全運転の基本を重視した取り組みを強化します。

・事故件数(物損事故含む)30%以上の削減

・事故対策方法を全従業員により募集・採用し、事故大幅削減を図る。

3. 事故統計(自動車事故報告規則第2条に規定する事故)

① 自動車事故報告規則第2条に規定する事故報告件数

・人身事故 0件

・車両故障 0件

② 軽微な接触、駐車場内接触、社内事故を含む件数

・上越妙高駅前営業所 3件

・長野飯山営業所 1件

4. 安全管理規定

当社では、「輸送の安全性向上」を図るべく、安全管理規定を定めております。

(安全管理規定の主な内容)

- 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等
- 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制
- 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

5. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

- (1) ドライブレコーダー … 平成25年度より導入、平成31年度 全車導入完了
- (2) 適性診断の実施 … 在籍している全乗務員が3年に1回の頻度で独立法人自動車事故対策機構が実施している適性診断を受診しております。
- (3) 車両の安全について… バス車両の償却期間よりも前に順次新型バスの導入し、安全装置のついた車両導入を図ります。

6. 輸送の安全に係る情報の伝達体制、その他の組織体制

別表の通り安全管理連絡体制を構築しております。

7. 輸送の安全に関する教育及び計画

輸送の安全に関する目標を達成するため、定期的開催している運転士実務研修において、技術習得の実車訓練と合わせて乗務員との意見交換等を含めた輸送の安全に関する講義を行っているほか、点呼指導、点呼執行視察等、あらゆる場を活用し輸送の安全に努めています。

今年度も個人指導は元より十分な事故分析及び反省を踏まえ、指導教育の充実を図り事故減件目標を達成できるように、最大限の努力をしていきます。

(1) 安全運動

安全運動の一環として各強調月間に、社長以下管理者による点呼の査察・指導及び職場巡視を行い、輸送の安全性向上に努めます。

- ① 春の全国交通安全運動(4月上旬)
- ② 夏の全国交通安全運動(7月下旬)
- ③ 秋の全国交通安全運動(9月下旬)
- ④ 年末年始輸送安全総点検(12月上旬～1月上旬)

(2) 事故防止対策

- ① 年2回開催の安全会議(全乗務員参加)で事故防止対策(ヒヤリハットを含む)を行い、啓蒙活動及び事故原因の究明、再発防止に取り組んでいます。
- ② 労使による事故防止対策会議を開催し、輸送の安全性向上に努めていきます。

③ 運転記録証明書の提出を義務付け、法令違反の抑制及び安全意識の向上に努めていきます。

8. 輸送の安全に関する内部監査の実施

当社は安全マネジメントの実施状況を点検するため、適切な時期を定めて輸送の安全に関し、内部監査を年1回以上実施いたします。

以 上

安全統括管理者：杉木龍典